

# 物価高の今、市民生活をどう守るか



自由民主党市議員  
江上 しほり 議員



## 市長の政治姿勢を問う 令和8年度予算における 重点・優先順位

**問** 物価高騰が続く中、令和8年度予算は「市民生活応援予算」と位置づけているが、本市財政は厳しい状況にある。人口減少対策も含め、どの分野を優先し市政を進めていくのか、市長の考えは。

**答** 若者雇用や子育て支援、まちなか再生を進め、物価高騰対策を重点に市民生活と事業者経営への支援に取り組む。

**問** 市民生活支援を強化するための財政の持続性をどう確保し、人口減少対策にどう反映したのか。市長の考えは。

**答** 若者の雇用創出や子育て支援の充実が必要であり、国の交付金等を最大限活用して、事業の選択と集中、効率的、効果的な財政運営に取り組む。

**再発言** 施策の効果検証と重点化を進め、市民生活支援と財政の持続性の両立を図る市政運営を要望する。

## 庁舎整備事業

**問** 庁舎整備への2件の議会への陳情について、市民の不安に対する市長の受け止めは。

**答** 建設費高騰を踏まえ、床面積を精査して事業費削減に努める。また、本館は機能性、経済性の観点から、庁舎としての継続使用は困難。

**問** 新庁舎完成後の本庁舎の扱いと財政見通しの見解は。

**答** 本庁舎は庁舎として使用せず、将来の利活用を検討する。総事業費や財源、市債等は、基本計画素案段階で示す。

**問** 建設費高騰を踏まえ、総事業費の管理や庁舎規模の見直しについて見解は。

**答** 建設費の上限設定は困難だが、DX化、コンパクトで機能的なものにし、床面積削減を図り、規模縮減に努める。

**問** 既存施設である旧労働福祉会館の活用による新庁舎の規模縮減についての見解は。

**答** 耐震性や老朽化によるコスト面から継続利用は困難。

## まちなかの活性化

**問** 2年間のまちなか活性化推進室と政策監の成果・実績を市長はどう総括しているか。

**答** UDCおおむた<sup>\*</sup>設立や新栄町駅前再開発事業の具体的協議の開始など、まちなか再生の基盤づくりが進んだ。

**問** まちなか活性化推進室を市長直下から見直した理由は。

**答** 事業が実行段階に入り、企業誘致や商業振興と一体的に進める必要があるため。

**問** 新栄町駅前再開発事業での公的整備や補助金の活用などの市の関与の在り方は。

**答** 国の補助金の交付や公共

施設整備に係る負担金の支出により事業推進を図る。



新栄町駅前地区市街地再開発準備組合理事会作成 (2026.1月時点)

## 教育行政

**問** 中学校再編で得られた教育的成果と課題は。

**答** 白銀・御木中では、交友関係の広がりや授業・部活動の活性化などが見られた一方、旧田隈中では、仮校舎使用への不満などの課題もあった。

**問** 「桜花中学校」に込めた思いと平和教育への考えは。

**答** 生徒の個性を尊重しつつ、歴史的事実にも向き合い、平和教育を実践していく。

**問** 小学校再編や適正規模・適正配置をどう進めるのか。

**答** 国の基準である12～18学級を基本として、通学距離や安全面に配慮し、地域や保護者の意見を踏まえ策定する。

**問** 体育館空調と給食費無償化の見通しは。

**答** 空調は令和8～10年度に整備を進める。給食費は国の交付金等を活用して無償化を実施し、継続は今後判断する。

**再発言** 学校再編や小中一貫教育、義務教育学校は教育的効果と地域との調和を図り、持続可能な形で推進し、給食費負担軽減の継続を要望する。

<sup>\*</sup>UDC おおむた：まちなかの魅力創出及び活力の維持向上を目的とする「大牟田まちなか再生未来ビジョン」を推進するために設立された公・民・学連携の組織